

NIC

TOPICS

JANUARY
2022

- innovation
- project
- happy work place
- collaboration
- solution
- open laboratory
- sustainable
- prototyping
- playful
- coworking
- network
- fail fast
- efficiency
- serendipity
- creating shared value
- diversity
- exciting
- heart to heart

4th

anniversary



ニューノーマル時代の新しい働き方 [ポストコロナを見据えながら]

2017年11月にオープンしたNICは、2年4ヶ月にわたって想定を上回る方々にお越しいただき、思い描いていたバザールが実現していました。2020年春に起こった突然のパンデミック襲来のあと、賑わいは影を潜め、在宅勤務の数が増えたこともあり、一転して静かな場になりました。感染防止対策を行いソーシャルディスタンスを確保しながら、こうした新しい働き方に対応して、社員は自発的な場の活用法を模索してきました。リモートワークとオンラインの活用により、講演会や研究発表会などの参加者は、グローバルに広がり数も増えるようになりました。環境の変化に自然に対応することで生まれた新しい働き方は、先の見えない未来においても、多様性の進化としてこれからも活かされていくでしょう。この新しい形は、WORK MILL誌やJOIFAのアンケート報告書の中でも紹介されました。

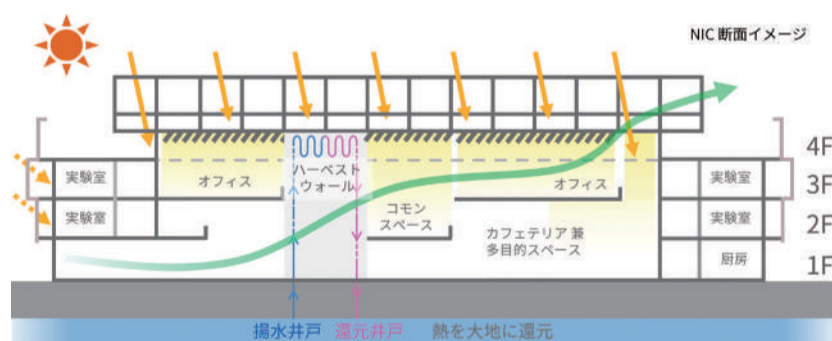


左 / NICのオフィススペースの写真が掲載されたWORK MILL_06(フォブスジャパン2021年6月号別冊)世界の最先端ワークプレイスとして紹介されました。

右 / 日本オフィス家具協会 (JOIFA) の2021年アンケート報告書で、NICの現状とこれからの動向が紹介されました。

NICオフィス環境の研究結果報告会開催

12月7日、NICオフィス環境について、日本建築学会や空気調和衛生工学会の大会で報告した内容を、関係者向けにオンラインで公開しました。早稲田大学建築学科・田辺新一教授からカーボンニュートラルの最新動向、同大・田辺研究室からNICで実測された環境計測結果の発表を行い、小堀哲夫氏から自然と調和する設計コンセプトや環境設備設計の説明がありました。輻射空調や日射熱対応など、改めてNICの省CO₂の効果がデータに基づいて実証されました。



NICガーデンレクチャー

NICオープン当初より実施している社員向け勉強会「NICガーデンレクチャー」の開催は、40回を超えました。支店や工場、海外拠点からも多くの社員が参加し、知的戦略・SDGs、そしてアフターコロナにおいて力強く成長するためのヒントを多くもらいました。



10月5日、(株)シナコーポレーション 遠藤様による「アフターコロナにおいて 力強く成長するための」これまでで最大の聴講者数となりました。



11月26日、リコージャパン(株) SDGsキーパーソン 金田様による「なぜ企業がSDGsに取り組むのか」

日華化学創立80周年 次世代への飛躍

人々の、社会のサステナブルで快適な暮らしの実現を。



代表取締役社長 江守 康昌

1941年に創立した日華化学は、創立80周年の大きな節目を迎えました。創立のときから「製品を売るにあらずして技術を売る」という信条のもとに、界面科学と毛髪科学を軸に先駆的な製品や技術を生み続けてきました。2021年に発表した新中期経営計画の「INNOVATION 25」では、世界の構造変化に呼応して、環境(E)、健康・衛生(H)、先端材料(D)の3つの分野に事業のベクトルを集中します。オープンして4年を過ぎたNICで、創業以来のオープンイノベーションの企業風土を促進し、さらにパートナー・お客様と繋がりつつ、今後も人々のサステナブルで快適な暮らしの実現に貢献してまいります。

【変革期と研究所の建設】

80年の歴史の中で、3つの大きなイノベーションの波がありました。事業構造の変革と研究所の建設が呼応しています。

1941 日華化学工業創立
繊維油剤・染色助剤分野に進出

第1変革期 (1950～1960年代)

- 1958 クリーニング分野に進出
- 1964 金属工業分野に進出
- 1965 紙パルプ分野に進出
- 1967 研究所完成
- 1968 台湾日華設立 以後海外進出本格化



旧研究所



1960年代の本社(福井市文京)

第2変革期 (1980～1990年代)

- 1981 デミ化粧品事業部設立
- 1983 精密化学品分野に進出
- 1984 デミ毛髪科学研究所完成
- 1985 鱗江工場完成
- 1986 チバ・ガイギー社と業務提携
- 1988 ニッカUSA設立
- 1989 日華総合研究所完成
- 1996 ローヌブーラン日華設立(現ソルベイ日華)



旧日華総合研究所(現アネックス棟)



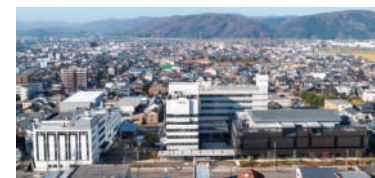
2011年頃

第3変革期 (2010～2020年代)

- 2010 イーラル株式会社設立 鹿島工場完成
- 2011 ニッカ KOREAフッ素化学品工場拡張
- 2012 上海研究開発センター完成
- 2014 台湾日華先端研究センター完成
- 2015 大智化学産業・江守エンジニアリング子会社化
- 2017 NICCA イノベーションセンター完成
- 2020 生活・環境・衛生事業に注力



NICCA イノベーションセンター



2017年



マヨネーズは凍らせるとどうなるか？ 解凍するとどうなるか？
日常目にするものを使って実験を行い、界面科学を体験していただきました(春山地区見学会)。

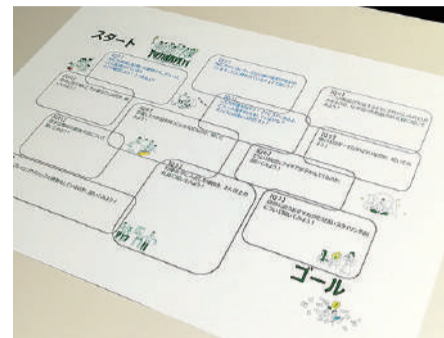
未来につなぐ

～県内生徒の研修を通じた地域貢献活動・ 六本木ヒルズキッズワークショップ～

新型コロナウイルス感染拡大により、修学旅行の行先が福井県内になる学校が多くなりました。見学を希望する学校ごとに、職場体験やキャリア教育の一環など、目的・見たい場所・聞きたい内容が異なり、都度担当の先生と内容を確認しながら受け入れを行いました。初めて実施した内容も多くありましたが、担当した研究員1人1人が生徒にわかりやすく伝える言葉を選んだり、思い出に残るよう工夫しました。また、6月には県内職業系高校の1年生に対し、繊維の歴史・発展についてオンライン授業を行いました。夏休みには、エレファンテック(株)とデザイナーの鷲森アグリ氏と日華化学が合同で、「オリジナルマスクをつくろう」という森ビル主催のワークショップに参画しました。昇華転写によるプリントと新開発のボカン加工を夏休みの子どもたちに体験してもらい、水の大切さとアップサイクルの重要性を伝えました。



出会う社員1人1人に
入社した理由・働きがいなどを質問しました。



上中中学校のオリエンテーリングで使ったシート。事前に
頂いた質問に加え、見学ポイントを記載し見学しました。



6グループに分かれ、NIC内を見学すると同時に
多くの社員と交流をしました(上中中学校)。



自分の好きな香り・保湿成分を選び、
オリジナルシャンプーを作りました(松陵中学校)。



福井県からの依頼を受け、職業系高校1年生
約1,600人に対し、オンライン授業を配信しました。



コロナ禍のためオンライン配信となり、子どもたちは自宅で
マスクのデザインに挑みました(森ビル主催ワークショップ)。

日建連表彰2020 第61回BCS賞受賞

4/19
mon



BCS賞は日本建設業連合会が主催し、建築に係る計画・設計から、施工、環境、建築物の運用・維持管理までの総合評価で選考される61年の歴史を誇る賞です。NICは、イノベーションを喚起する立体的なコモンスペースの連鎖、研究者と他者との交差、感動を共有できるオープンな場、自然の光や風で包まれる心地よい空間を高く評価されました。一般企業の社屋としては福井県で初めての受賞です。

北陸産学技術交流会 「カーボンニュートラルに向けた北陸の施策」

11/19
fri



北陸経済連合会と日華化学の共催で、カーボンニュートラルをテーマとした産学技術交流会がNICで開催されました。金沢大学・北陸電力・IHIと弊社からの基調講演の後、日照時間が少ないという北陸地方の不利を克服し脱炭素の大きな流れをリードするような施策の提案と活用についての有意義なディスカッションと情報交換が行われました。会議後に、国土交通省CO₂先導事業であるNICの見学会を行いました。

第16回福井県科学学術大賞受賞 ～カタライザー型脱墨剤～

2/7
sun



福井県科学学術大賞は、科学技術の開発や学術研究に携わり、県の発展に貢献した人物を顕彰するもので、福井県版ミノーベル賞と位置づけられています。当社が開発した「カタライザー型脱墨剤」は、これまで困難とされてきたUV硬化型印刷物のリサイクルを世界で初めて可能にした脱墨剤です。開発した触媒技術を用いて福井発・世界初の技術でUV印刷物および古紙全体のリサイクルを推進したことが評価されました。

令和3年度近畿地方発明表彰 発明協会会長賞受賞 ～常温洗浄型硬質表面用洗浄剤～

11/18
thu



地方発明表彰は、大正10年から続く歴史ある表彰事業で、全国各地域において優れた発明等を完成した方々、発明の実施化及び指導、奨励、育成に貢献した方々を称えるものです。今回当社が受賞したのは主に自動車や様々な分野で使用される金属部品の加工時に使われる洗浄剤です。これまでの洗浄剤は高温で使用するのが一般的でしたが、常温で使用可能で電力消費を35%削減できるなど、画期的な製品設計が評価されました。

NIC アートギャラリー

福井にゆかりのある様々な分野のアーティストを支援しながら、NICに訪れるお客様や社員に新鮮な驚きと好奇心の種を毎回提供するギャラリー。2021年は色鉛筆作家の伊藤志穂さん(左)や、日本画アーティストの岩堀葉さん(右)の作品を展示しました。



伊藤氏の色鉛筆画「くうふく」



岩堀氏の日本画「型に嵌める意味」

Editor's note

ジャズピアニストのハービー・ハンコックの不朽の名盤「処女航海」では、初めて出帆した船がハリケーンに出会い、小さな生き物の痕跡を知り、踊るドルフィン達にも遭遇します。その中にサバイバル・オブ・フィテストという曲もあって、最も適応した者だけが生き残るというダーウィンの有名な言葉を思い起こさせます。NICの4年目は、まさしくそんな先の見えない航海にも似て、不安と期待の交錯する一年でもあり

ました。この先の未来がどうであれ、自発的な試行錯誤の中で進化したリアルとバーチャルの融合、地域とのつながり、新しい技術の芽は、遅く漕ぎ出してゆく原動力になるのだと思います。(MM)

日華化学株式会社

910-8670 福井県福井市文京 4-23-1 TEL.0776-24-0213(代)
NICCA / www.nicca.co.jp NIC / nic.niccachemical.com

